

令和7年度 第2回

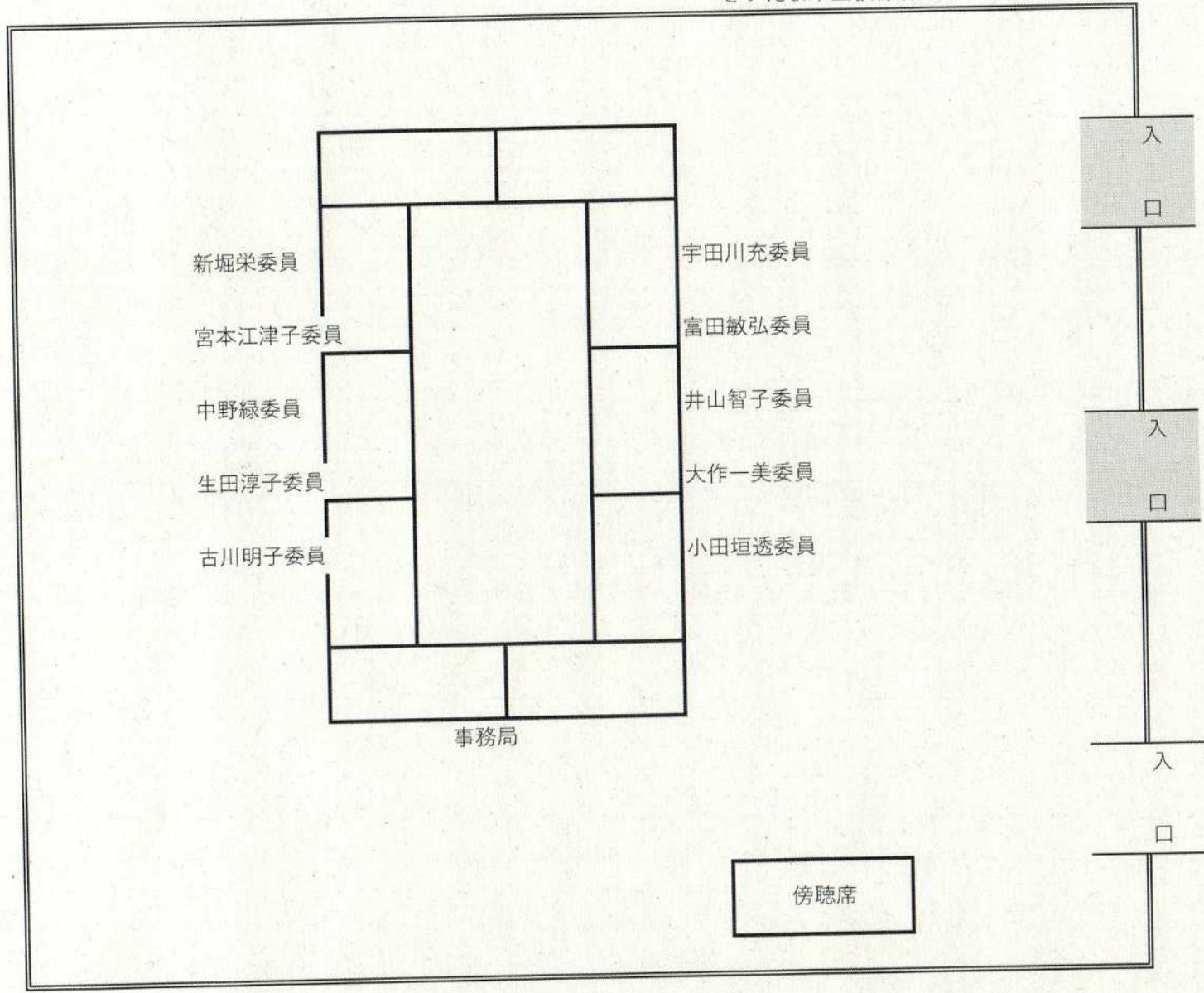
さいたま市立館岩少年自然の家運営委員会

さいたま市立館岩少年自然の家

令和7年度第2回さいたま市立簗岩少年自然の家運営委員会：席次表

令和8年3月17日 午後1時30分

さいたま市立教育研究所 2階第2研修室



次 第

議 題

- (1) 令和7年度自然の教室冬季実施プログラム、
各種アンケート結果等について 資料1

- (2) 令和7年度館岩少年自然の家利用状況について
資料2

- (3) 令和7年度予算の執行状況
(歳入) 資料3-1
(歳出) 資料3-2

- (4) 白銀の会津高原家族の集いin南会津

- (5) 令和8年度館岩少年自然の家実施計画
(夏季) 資料4-1
(冬季) 資料4-2

○ 令和7年度「自然の教室」(冬季)実施プログラム、各種アンケート結果等について

※ 1月9日～3月10日実施 中学校56校

※ 実施率 98%

1 主な自然体験活動実施の割合 【プログラム実施校/56校】 (%)

スキー活動	雪中運動会	雪灯籠	かんじき体験	雪像づくり	星空観察	学年レク(体育館)	キャンドルファイヤー(体育館)
100	14	33	3	14	3	76	19

2 利用の効果 ～引率責任者アンケートより～ 【計56校】 (%)

自然体験活動の達成度				児童生徒相互の理解・協力の達成度			
十分達成	やや達成	やや不十分	不十分	十分達成	やや達成	やや不十分	不十分
93	7	0	0	78	20	2	0
○：十分達成の理由				◇：やや達成の理由			
<p>○雪山の厳しさ、美しさ、楽しさ全てを経験することができた3日間だった。初めてスキーをする生徒も多く、新たな発見をしたことが大きな成果だった。</p> <p>○環境条件等を理由にスキー活動をあきらめる生徒がいなかった。雪国体験では、雪灯籠づくりで風向きを考えて開口部を決めていた。また、満天の星からさいたま市との違いに気付くことができた。</p> <p>○スキー活動で、はじめは「無理」と思ったことでもやり続けていれば『できた』という達成感を味わわせることができた。</p> <p>○雪像づくりで、グループの仲間と考えながら、雪の特性を理解して何度も作り直していた。</p> <p>◇スキー活動を通して、自身の課題を設定し、解決するための活動ができた。その中で、考えることを意識することで、達成することにつながられた。</p>				<p>○食堂の方へのあいさつや、時間を守る意識の向上、リーダーとしての室長の行動力等、生徒の力の伸びが見られた。</p> <p>○実行委員会を中心に準備したことで達成感を味わえた。また、集団生活を通して協力する大切さなどを改めて学ぶことができた。</p> <p>○スキー活動での思いやりや助言などが活発に見られた。遅れ気味の仲間を根気よく待つことができた。雪国体験での片付けなど、協力してできた。自然の教室では、学校生活よりもあいさつができるようになった。</p> <p>◇学年で目標にしていた時間を守ることについては、この機会に大いに指導していくことができたが、生徒指導上まだまだ課題があると感じた。</p> <p>◇集団生活の中で養われた資質が多くあると感じたが、相互の協力がもっとあればレンタル品の紛失等が防げたのではないかと感じた。</p>			

3 利用についてのアンケート ～指導責任者アンケートより～ 【計56校】 (%)

① 活動を実施したことで、各項目の達成度はいかがでしたか。

【自然体験活動について】					【児童生徒相互の理解・協力について】				
	十分達成	やや達成	やや不十分	不十分		十分達成	やや達成	やや不十分	不十分
自然への関心	82	16	2	0	成就感・達成感	78	20	2	0
課題発見・設定	25	67	8	0	自尊感情	40	56	4	0
思考・理解	21	68	11	0	役割	64	32	4	0
学習との関連付け	29	61	10	0	規範意識	36	55	9	0
体力・健康への関心	68	29	3	0	連帯感・所属意識	70	27	3	0
					思いやり・協力	70	27	3	0
					あいさつ	33	45	20	2
					時間遵守	52	43	5	0

② 学校生活に不安を抱える児童生徒の参加はありましたか。・・・あった 89% ※うち効果があったと回答 92%

【学習効果や大きな変容】

- ・自然の教室では、朝、みんなと定時に起きることができた。また、みんなと集団行動ができた。
- ・スキー活動に参加し、最後までやり遂げたことで「自分はチャレンジできる」という大きな自信をつかむことができた。
- ・仲間と共に活動し、自ら係を引き受けることができた。

4 非認知能力効果測定 ～児童生徒アンケートより～ 【46校/計56校】

	自然体験活動の達成度					児童生徒相互理解・協力の達成度								計
	関心	課題	思考	学習	健康	達成	自尊	役割	規範	連帯	協力	挨拶	時間	
さいたま市事前	3.56	3.19	3.26	3.32	3.51	3.35	3.15	3.56	3.56	3.60	3.56	3.44	3.47	44.54
さいたま市事後	3.78	3.38	3.40	3.54	3.68	3.55	3.34	3.69	3.68	3.71	3.68	3.54	3.63	46.60
差 [Pt]	0.22	0.19	0.14	0.22	0.17	0.20	0.19	0.13	0.12	0.11	0.12	0.10	0.16	2.06

5 傷病者の対応 【計56校】

病院搬送の回数・人数	34回（同乗あり）・45名
搬送対応となった傷病名と人数	インフルB：18名、インフルA：1名、打撲（指、膝、肘）：3名、骨折：3名、発熱18名、喘息1名、切創1名
搬送先	愛輝診療所 32名 南会津病院 11名 なかやクリニック 1名 会津中央病院 1名 ※会津中央病院に転院搬送1名
保護者への引き渡し人数（理由）	46名（発熱：20名、精神的不安：1名、インフルB：18名、インフルA：1名、骨折：2名、打撲（膝）：2名、体調不良：1名、喘息：1名）

6 成果と課題

- 自然の教室での教育活動を通し、生徒一人ひとりが活動を通して学びを深めたことで、様々な力がつき、発揮されたと考える。引率教員が現地研修会をはじめ、事前から指導・準備を継続して行ってきたこと、生徒が意欲をもって自然の教室に参加したことが大きな成果につながっていると感じた。
- 「非認知能力効果測定」において、全ての項目で伸びが見られた。3日間の自然体験活動や集団宿泊活動を通して、効果的な指導や学びがあったからだと考える。
- △自然の教室担当の教員の負担が大きくなってしまふところが見受けられた。さらに自然の教室の成果が見られるように、引率教員全体で役割分担をし、業務が分散するよう、これまで以上に指導・助言をしていく必要がある。

令和7年度 館岩少年自然の家利用状況(令和8年3月10日現在)

とくさ館

区分 月	団体数				階層別利用者数(実人数)						備考	
	学校教育		社会 教育 団体	その他	小計	小学生	中学生	高校 大学 専門	指導者	他		計
	小学校	中学校										
4				1	1					39	39	
5	11				11	1,808			114	5	1,927	
6	14				14	1,574			118	2	1,694	
7	5			3	8	673	6	40	55	72	846	
8				1	1	33	31	81	17	20	182	
9	12				12	2,133			131	4	2,268	
10	13				13	1,797			123	2	1,922	
11					0						0	
12					0						0	
1		13			13		2,284		157	2	2,443	
2		13			13		2,531		168		2,699	
3		4			4		878		54		932	
合計	55	30	0	5	90	8,018	5,730	121	937	146	14,952	

からまつ館

区分 月	団体数				階層別利用者数(実人数)						備考	
	学校教育		社会 教育 団体	その他	小計	小学生	中学生	高校 大学 専門	指導者	他		計
	小学校	中学校										
4				1	1					33	33	
5	8				8	790			67	0	857	
6	14				14	542			75	4	621	
7	6	1			7	175	80		37		292	
8					0						0	
9	10				10	939			78	2	1,019	
10	13				13	862			86	1	949	
11				1	1					57	57	
12				1	1	16	2			14	32	
1		10			10		1,389		105		1,494	
2		11			11		1,336		104		1,440	
3		5			5		549		48		597	
合計	51	27	0	3	81	3,324	3,356	0	600	111	7,391	

総計

区分 月	団体数				階層別利用者数(実人数)						備考	
	学校教育		社会 教育 団体	その他	小計	小学生	中学生	高校 大学 専門	指導者	他		計
	小学校	中学校										
4				1	1					72	72	
5	19				19	2,598			181	5	2,784	
6	28				28	2,116			193	6	2,315	
7	11	1		3	15	848	86	40	92	72	1,138	
8				1	1	33	31	81	17	20	182	
9	22				22	3,072			209	6	3,287	
10	26				26	2,659			209	3	2,871	
11				1	1					57	57	
12				1	1						0	
1		23			23		3,673		262	2	3,937	
2		24			24		3,867		272		4,139	
3		9			9		1,427		102		1,529	
合計	106	57	0	7	170	11,326	9,084	121	1,537	243	22,311	

令和7年度予算執行状況【歳入】

令和8年3月10日現在

(単位 円)

予算科目	予算現額	収入済額	収入率 (%)	備考
17使用料及び手数料	242,000	539,690	223.0	
1使用料	242,000	539,690	223.0	
9教育使用料	242,000	539,690	223.0	
5社会教育使用料	242,000	539,690	223.0	
2少年自然の家使用料	242,000	539,690	223.0	少年自然の家利用者使用料
24諸収入	3,017,000	1,651,778	54.8	
6雑入	0	73,028	#DIV/0!	
2過年度収入	0	73,028	#DIV/0!	
3その他過年度収入	0	73,028	#DIV/0!	
1その他過年度収入	0	73,028	#DIV/0!	
3雑入	3,017,000	1,578,750	52.3	
9教育費雑入	3,017,000	1,578,750	52.3	
2施設光熱水費等負担金	3,017,000	1,578,750	52.3	宿舎・厨房電気料
合 計	3,259,000	2,191,468	67.2	

令和7年度予算執行状況【歳出】

令和8年3月10日現在

(単位 円)

予算科目	予算現額	支出済額 (執行額)	執行率 (%)	備考
10教育費	274,783,000	180,780,610	65.8	
6社会教育費	274,783,000	180,780,610	65.8	
6少年自然の家費	274,783,000	180,780,610	65.8	
少年自然の家管理運営事業	205,228,000	143,403,805	69.9	
8旅費	1,714,000	439,968	25.7	本庁事務連絡旅費
10需用費	93,304,000	48,731,189	52.2	
1消耗品費	800,000	725,815	90.7	事務用消耗品、施設用消耗品等
2燃料費	34,908,000	15,620,630	44.8	公用車用燃料費、暖房用燃料費等
5光熱水費	56,496,000	29,000,000	51.3	電気代
6修繕料	1,100,000	3,384,744	307.7	施設修繕、物品修繕
11役務費	4,320,000	2,319,050	53.7	電話料、リネン等クリーニング等
12委託料	61,797,000	50,207,300	81.3	浄化槽・エレベーター・建物管理等
13使用料及び賃借料	42,474,000	40,805,839	96.1	公用車賃借、コピー機、FAX、AED等
18負担金補助及び交付金	1,619,000	900,459	55.6	道路等除雪負担金、危険物安全協会会費等

少年自然の家野外活動事業	69,555,000	37,376,805	53.7	
1報酬	156,000	42,000	26.9	運営委員報酬(民間選出)
7報償費	124,000	80,000	64.5	指導者講習会講師謝金等
8旅費	12,000	0	0.0	費用弁償
10需用費	770,000	516,524	67.1	
1消費品費	770,000	516,524	67.1	活動プログラム消耗品
11役務費	1,069,000	686,400	64.2	登山道ネット設置費
13使用料及び賃借料	1,789,000	1,247,393	69.7	現地研修会バス借上げ料
15原材料費	100,000	74,832	74.8	環境整備に要する木材等
18負担金補助及び交付金	65,535,000	34,729,656	53.0	バス輸送補助金
合 計	274,783,000	180,780,610	65.8	

